

## チュチェ思想を学び体得してより広く適用しよう

「ギニア民主党－アフリカ民主連合」書記長代理  
オイェ・ベアボギ

みなさん、

チュチェ思想研究組織代表のみなさん、

朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を迎える意義深いこの時期、ギニア民主党・アフリカ民主連合は朝鮮労働党総書記であり、朝鮮民主主義人民共和国國務委員長であり、朝鮮民主主義人民共和国武力最高司令官である金正恩閣下と英雄的朝鮮人民にもっとも熱烈な祝賀の挨拶を送ります。

われわれは朝鮮労働党の総書記である金正恩同志が 20 世紀のもっとも尊敬する金日成主席によって創始され、金正日総書記によって発展豊富化されたチュチェ思想の継承者として活動しておられることについて祝賀を送ります。

チュチェ思想研究組織代表のみなさん、

今日のこの会合はわれわれにとってチュチェ思想は世界の進歩的人民を勝利と栄光の道へと導いてきたし、また導いているもっとも正しい思想であることを全人類に再度想起させる一つの立派な契機となります。

朝鮮民主主義人民共和国が 75 年間にわたって宣揚してきた強国の威容と自主的な発展相は、われわれをしてチュチェ思想がいかなる形態の試験や外部勢力にたいする依存のない真の発展を遂げようとする世界のすべての国家の中でどんなに大きな感化力をもっているかをはっきり示しています。

われわれにとって朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を慶祝することは、戦う人民が進むべき自主的な前途を示すチュチェ思想の正当性と生命力を確認する機会となります。

チュチェ思想研究組織代表同志のみなさん、

チュチェ思想の正当性と生命力は勤労人民大衆のすべての志向を反映して社会関係のバランスを保障するところで現れています。学び、体得してより広く具現しよう、これが完全な独立をめざして闘うすべての国が掲げるべきスローガンであるといえます。

チュチェ思想研究組織代表のみなさん、

チュチェ思想が人民大衆の利益の擁護を第一の使命としていることをわれわれみんなはよく知っています。旧ソ連や他の国々が自主的理念と民族性を蔑ろにしたことから結局崩壊したという歴史的事実に照らしてみると、今日、チュチェ思想は自己の正当性をより明白に誇示しています。

チュチェ思想についていまだに半信半疑する人々がいるが、われわれはチュチェ思想が自

らの組織力と動員力を全世界に誇示した人民大衆の利益を擁護するための思想であることをはっきりと言いたいのです。その明白な実例が社会主義朝鮮の今日の誇らしい姿です。

今日、朝鮮民主主義人民共和国は敵対勢力の悪辣で卑劣な反人民的で反国家的策動を果敢に粉砕しながら科学と技術分野で驚くべき飛躍を起こしています。社会主義朝鮮のこうした目覚ましい現実はいわれわれにとって驚くべきことではありません。いつか、ギニア革命の指導者アフメド・セク・トゥレ大統領は「帝国主義者の賞賛の対象になるということはもはや悪いことである。反対に帝国主義者の憎悪の対象になるといえば、それはよいことである」といいました。言い換えれば、圧制者と被圧迫者の友人には同時になれないということです。

帝国主義者の狂気じみた策動と世界が直接目撃している社会主義朝鮮の現実を通じてわれわれは金正恩総書記が朝鮮民主主義人民共和国をもっとも正しい道へと導いていることをよく知ることができます。

チュチェ思想研究組織代表同志のみなさん、

ギニア民主党—アフリカ民主連合とギニア・チュチェ思想研究グループは金日成主席とアフメド・セク・トゥレ閣下の格別の関心によってギニアと朝鮮両国間に相互尊重の原則で結ばれた友好関係を大事にしています。

そういうことにより、われわれにとって本大会は両国間の友好関係をより厚くし、協力関係をより発展させる契機となるのです。

朝鮮民主主義人民共和国創建記念日を迎えながらわれわれは、あなたたちの側に立っていることを再確言しつつ、世界の進歩的諸国とチュチェ思想研究組織との友好協力関係をさらに強化発展させることにより帝国主義勢力を決定的に粉砕しようということをアピールします。

われわれはともに歩んできた長い歴史、共同で成果を収めていた時と困難であった時期を常に顧みなければなりません。

われわれはあらゆる敵対的な挑戦を粉砕し、協力と相互尊重の精神をもって未来を志向していかなければなりません。

人間の尊厳と持続的な発展のための闘争はわれわれの力を一つに結束することを要求しています。すべての国と組織団体はこうした目標をもって闘争しなければなりません。

チュチェ思想研究組織代表のみなさん、

われわれはチュチェ思想を信念とし、今後も支持するでしょう。

われわれは朝鮮人民とともにあり、正義かつ崇高な朝鮮人民の闘争に支持と支援を惜しまないでしょう。

戦う人民に栄光あれ！

ギニア、コナクリ

2023年6月26日